

Tokyo Fiscal Forum 2017

「人口構成の変化と将来的な不確実性の下での財政政策：
アジアにおける包摂的成長のための持続的な政策形成」

大塚財務副大臣 開会の御挨拶

2017年6月5日 9:45～（三田共用会議所）

- 皆様、おはようございます。日本によろこそ。財務副大臣の大塚です。アジア諸国やその他の地域から、多くの参加を得て大変嬉しく思います。主催者を代表して深く感謝申し上げます。
- 本フォーラムのテーマは「人口構成の変化と将来的な不確実性の下での財政政策：アジアにおける包摂的成長のための持続的な政策形成」です。
- 日本では、高齢化が世界に先んじて進行し、今後も更に進行する見込みとなっており、財政政策に大きな課題を投じています。また、人口減少・高齢化社会に起因する経済・財政の先行き不安等が根強く存在しており、政府の対応が求められているところです。
- 国会議員として、私は常々「日本の未来を背負う子どもの世代につけを残さない政治をしなくてはならない」と訴えてきました。一時の場当たりの政策は、非常に罪づくりです。ちょっとした負担や過ちも、日々積み重なっていけば、いつしか大きな負担になっていくものです。私には、5歳の息子がいます。彼を含むすべての子供達が「この国に生まれてよかった」と思えるような世の中にしなくては、と考えています。
- そこで、開会挨拶におきまして、まず、日本が直面する人口構成の変化と将来的な不確実性の現状についてお話させていただきます。次に、それに対して現政権が進めている政策につきまして、お話させていただきます。その上で、本フォーラムのもう一方の関心事項である世界経済をとりまく不確実性についてお話させていただきます。

[日本の現状：人口構成の変化]

○日本は、全ての国民が保障を受けられる「国民皆保険・皆年金」を1961年に実現しました。その成果が、低い乳幼児死亡率や高い平均寿命となりました。

○一方で、国民皆保険・皆年金の成立以来、日本の経済成長は鈍化し、高齢化が急速に進行しました。1961年に5.7%だった高齢化率は2015年には26.7%に、1961年に21.4%だった名目GDP成長率は、2015年には3.3%となっています。日本の全国民の4人に1人以上が65歳以上となっています。

[財政の現状]

○日本の社会保障制度は財政的に極めて厳しい状況にあります。国の一般会計の歳出を見ても、社会保障関係費が今や3分の1を占める一方で、歳入の35.3%が公債金となっております。

○更なる高齢化に伴い、社会保障支出は今後も一層増加していく見込みです。増加する負担を将来世代に先送りし続けるわけにはいきません。そのために、社会保障の給付の徹底した見直し等の歳出改革を進めることはもちろん、成長力を高めることで歳入増に取り組むことが急務です。

[日本政府の取り組み]

○日本経済の成長力を高めていくためには、労働参加率の向上と、イノベーションの促進を通じた生産性の向上を図る必要があります。

○これらの課題に取り組むため、政府は、安倍総理が自ら議長となり、労働界と産業界のトップと有識者を集めた働き方実現会議を設置し、「働き方改革実行計画」を2017年3月に策定しました。

○アベノミクスが始まった2012年以来、高齢化にもかかわらず、日本の雇用は110万人増加しました。労働参加率の更なる向上については、子育てや介護等との両立を促すことが必要です。このことは、少子化の原因や、女性の

キャリア形成を阻む原因、男性の家庭参加を阻む原因を取り除くことにもなります。

○労働生産性を向上させるためには、非正規の待遇を向上させることで、働くモチベーションを向上させる必要があります。また、副業・兼業の推進に向けたガイドラインを策定することで、オープンイノベーションや起業を促進することが重要です。

○労働参加率と生産性を向上させることで、賃金が上昇し、需要が拡大する「成長と分配の好循環」が構築されることが期待され、それが、持続可能で包摂的な成長を実現となると考えております。

[世界経済の不確実性と包摂的成長]

○それでは、本フォーラムのテーマの一つである「不確実性」について申し上げます。

○貿易や金融面での統合、及び技術革新は世界経済に大きな利益をもたらしますが、最近一部において、内向きな政策に向けた動きが見られており、世界経済の先行きに対する不確実性の要因となっています。こうした動きの背景には、自由貿易や市場経済の便益を享受できず不満を持つ人たちの存在があることが指摘されています。

○したがって、こうした便益が幅広く行きわたるように、適切な再分配や構造面の取組を実行し、自由貿易や市場経済がもたらす経済成長と包摂性の実現を両立させなくてはなりません。

[結び]

○各国において人口構成の現状や、社会経済・財政の状況や課題は様々です。ただ共通して言えるのは、社会保障制度や財政政策について、今行われた選択は、将来世代にも影響を及ぼすということです。

○ヘンリー・D・ソローを引用しますと「夢に向かい、自信を持ってまっすぐ進め。自分の考えたとおりの人生を生きろ。人生をシンプルにすればするほど、宇宙の法則もシンプルになる」です。

○我々、アジア諸国の財政当局は、自信を持って、目の前に山積している様々な課題を迅速に解決しなければなりません。それこそが、次の世代が「この国に生まれてよかった」と思える国を実現するという夢を実現するためのシンプルな方法となります。

○本フォーラムにおいては、様々なバックグラウンドを持つ参加者から、様々な知恵と経験を結集し、大きな成果が引き出せることを期待しています。

○御清聴ありがとうございました。